

平成三十一年度 特別入学試験 小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで2ページあります。解答用紙は3枚です。下書き用紙は1枚あります。
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があつたら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってははいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読み、問いに答えなさい。

たとえば私が、社員の人に、「君、すまんが、こういう人のところへ電話をかけてくれんか。きょうの午後お会いする約束をしていたのだが、急に都合が悪くなった。」申しわけないが、あすにしてほしい」ということを電話でお伝えしておいてくれ」と頼んだとします。そういう場合、だれもが、「はい、承知しました」と言っただけで、電話をしてくれませんが、そのあとで、「先ほどの電話、かけておきました。先方さんもそれで結構だということでした」と、キチンと報告してくれる人と、そうでない人がいるのです。皆さんの場合はどうでしょうか。

きわめて些細なことのように思われますが、この、あとの報告をするかしないかということには、たいへんな違いがあります。というのは、頼んだほうは、多分、先方のご了解はいただけるだろうとは思いつつも、やはり結果が気になります。しかし、つぎからつぎへと仕事があつて忙しくしていると、気にはなつても確かめることもできないでいる。そんなとき、ちよつとした機会に「先ほどの電話の件、あれはオーケーでした」と知らせてもらつたと、非常に安心するわけです。

① お得意先から何かの用件を、社内の担当の人に伝えてほしいと頼まれたような場合も同様です。

私は、そうしたことと似たことが、周囲の人に安心感を与え、そこからその人に対する信頼が少しずつ集まり、高まるのではないかと思えます。「あの人は、仕事がよくできて、信頼のできる人だ」というような評価は、頭がいいとか腕がいいとかということにもよりまじりますが、それ以上に、そのような身の小さいことから築かれる信用によつて左右されるものだと思うのです。

むずかしいことはできても、平凡なことが行き届かないというのは、決して好ましいことではありません。むしろ大切なのは平凡なことのほうで、それを着実に積み重ねてしっかりと土台をつくり、その上にその人の経験なり知恵、さいかくを生かしているのが、望ましい仕事の進め方というものでしょう。

それは単に若い社員にとつてばかりではありません。私の経験上、一つの部なら部の責任者の場合でも、「あの人は信頼できるな」という人は、必ずキチンとした報告をします。いい結果の場合も、悪い結果の場合も報告してくれます。もちろん一つの部の運営を任されていて、しかもそれがうまくいってれば、特に報告をしなくてもいいようなものですが、そこはやはり打てば響くというか、かんたん相照らす仲というか、こちらの気持ちを察してよきにつけ悪しきにつけ報告してくれるのでしょう。そのへんが非常に大事なところだと思います。

そのような意味で、平凡なこと、些細なことをおろそかにしないというところに、信頼あつく、その会社になくなくてはならない人になるための第一歩があるという気がするのです。

問一 本文を二〇〇字以内で要約しなさい。ただし、①の部分は除外してよい。

問二 本文を参考にしながら ①の部分に書かれている内容を推測し、五〇字以内で書きなさい。

問三 本文中の傍線部②と③を漢字で書きなさい。

問四 あなたは、どのような人が周囲の人の信頼を得ることができると考えますか。本文の内容と自分の経験をふまえ、四〇〇字以内で書きなさい。